

地震の際のトイレ

災害直後、(水洗)トイレは使用できません

地震で下水管が破損している可能性があります。

破損を知らずに使用した場合

●下水管の詰まりが発生 ●流した汚水が下の階で水漏れとなる

●汚水の逆流 などが起こります。

破損が考えられる災害時は自治体が発信する情報等を確認してから使用するようにしましょう。

仮設トイレはいつ来るの？

災害用トイレとして真っ先に思いつく仮設トイレが、避難所にすぐに届くとは限りません。

※木津川市の各小中学校、当尾の郷会館及び青少年山の家には、簡易トイレ用の袋を備蓄しています。洋式便器が使用できます。

自宅トイレを災害時に使う方法

水を流すことはできませんが、便座そのものが壊れていなければ簡易トイレとして使用できます。その際簡易トイレセットが便利です。あらかじめ購入して備蓄しておきましょう。無い場合は下記の方法でも代用可能です。(便器が壊れている場合は、バケツやダンボールなども代用可能です。)

1
便座を上げて、1枚目のポリ袋をかぶせる

このポリ袋は付けたままにする

2
便座を下げて、携帯トイレをセット。無い場合は、2枚目のポリ袋をかぶせ、くしゃくしゃにした新聞紙を中に敷き詰める。

3
オムツやペット用トイレシート・猫砂、防臭スプレーは、吸収・防臭などに役立ちます。

4
排泄したら、2枚目のポリ袋(携帯トイレ)だけを取り出して、空気を抜いて強く結ぶ。

可燃ごみとして排出してください。

一人1日のトイレ使用：6回×最低3日分、できれば1週間分の簡易トイレセットの準備が望ましいです。
手洗い用ウェットティッシュなど一緒に準備しておきましょう。

被災時に備えて

住まいが被害を受けたとき最初にとすること

災害で住まいが被害を受けたときは、あまりのショックに、何から手を付けたらいいかわからなくなるかもしれません。被災者の方々が一日も早く日常生活を取り戻せるように、市も様々な支援に動き出します。それらの支援を受けながら、一歩ずつ再建を進めていきましょう。

その支援を受けるためにも、被害状況を写真で撮っておくようにしましょう。

家の被害状況を写真で記録しましょう

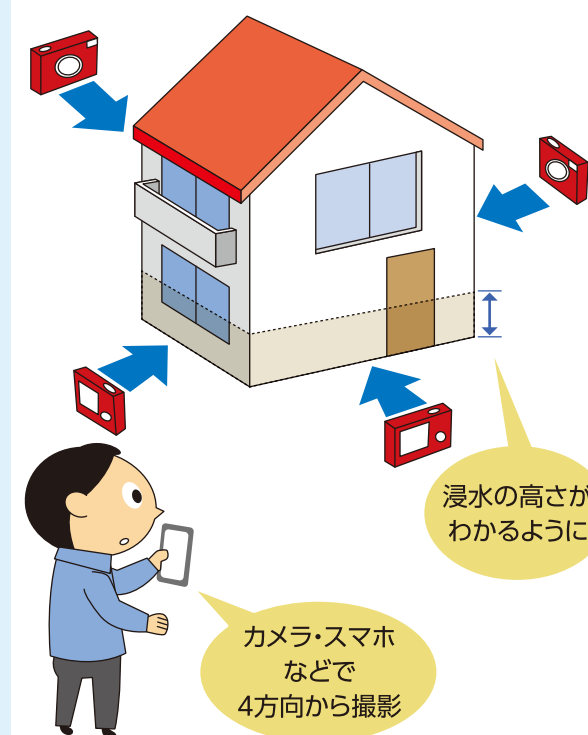
片付けや修理の前に、家の被害状況を写真に撮って保存しておきましょう。市から罹災証明書を取得して支援を受ける際や、保険会社に損害保険を請求する際などに、たいへん役に立ちます。

ポイントは、家の外と中の写真を撮ることです。

家の外の写真の撮り方

- カメラ・スマホなどでなるべく4方向から撮るようにしましょう。
- 浸水した場合は、浸水の深さがわかるように撮りましょう。

※メジャーなどをあてて「引き」と「寄り」の写真を撮ると、被害の大きさが良くわかります。



※イメージ図

家の中の写真の撮り方

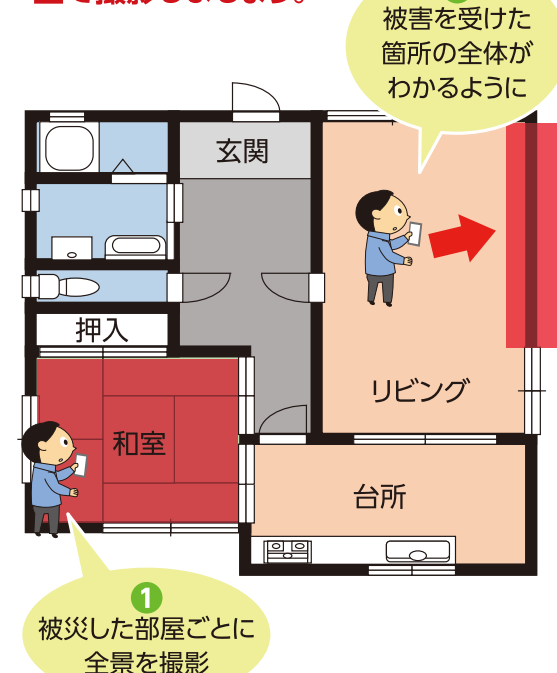
家の中の被害状況写真は、

- 1 被災した部屋ごとの全景写真
- 2 被害箇所の「寄り」の写真を撮影しましょう。

【想定される撮影箇所】

内壁、床、窓、出入口、サッシ、襖、障子、システムキッチン、洗面台、便器、ユニットバス など

被害を受けた部屋・箇所は全て撮影しましょう。



※イメージ図